

政策 III-1-(3)-①

1. 政策及び目標等

政策	金融インフラ等の国際化への対応
達成すべき目標	アジア金融資本市場において我が国市場および金融機関がアジアの金融拠点として機能すること
目標設定の考え方及びその根拠	アジアにおいて我が国金融機関および市場がそのプレゼンスに応じた一定の役割を果たしていくための課題について論点を整理することは、アジアにおける金融サービスの選択肢の増加・利便性の向上ならびに、域内分業の深化等を金融面でサポートすることにつながり、アジア経済全体の安定的な成長に寄与するものと考えられる。
測定指標	わが国市場をアジアの金融拠点にするための方策についての関係者との共同研究の論点整理とりまとめ状況

2. 17年度重点施策等

17年度重点施策	わが国市場をアジアの金融拠点にするための方策についての関係者との共同研究等
参考指標	共同研究会の開催状況

3. 政策の内容

我が国とアジア諸国の経済的な相互依存性が高まる中で、アジアの金融資本市場の健全な発展は、わが国を含めたアジア経済の安定的な成長にとって不可欠であり、アジアの金融拠点としてのわが国金融資本市場・金融機関がより大きな役割を果たしていくことが求められているため、わが国金融市場をアジアの金融拠点にするための方策について、関係者との共同研究を行なうこととしました。

4. 現状分析及び外部要因

我が国の金融システムを巡る局面は、不良債権問題への「緊急対応」から、将来の望ましい金融システムを目指す「未来志向」へと転換する節目を迎えており、我が国金融資本市場および我が国金融機関が、アジアの金融拠点としてより大きな役割を果たしていくことが求められています。金融庁はその金融改革プログラムにおいて「国際的に開かれた金融システムの構築と金融行政の国際化」を施策の一つとしており、本共同研究の実施もその一貫と位置づけられています。

5. 事務運営についての報告及び評価

(1) 事務運営についての報告

アジア金融資本市場と我が国市場の発展に関する共同研究会の開催

金融庁国際室は、財務省国際局および日本銀行国際局の協力のもと、共同研究会を開催し、平成 17 年 3 月から 7 月にかけて金融機関等関係者からのヒアリング等の調査を実施しました。さらに、18 年 1 月に有識者を含めた懇談会を設置して計三回開催し、6 月 30 日にヒアリング調査や懇談会における議論等から、共同研究会として把握したアジア金融資本市場及び我が国市場の実態及び今後の課題についての論点整理を作成し、公表^{※1}しました。

(2) 評価

我が国金融機関が不良債権問題から脱却し、本格的にアジア業務に目を向けつつある中、アジアの金融資本市場ならびに我が国市場の発展について考察した本共同研究会は時宜を得たものであり、今後の我が国金融機関および市場の発展を考える上で重要な取り組みであったと考えています。

また、論点整理では、アジア通貨危機以降のアジア金融資本市場の概況、欧米系金融機関のプレゼンスの拡大、我が国金融機関の果たしうる役割、地域金融協力、アジア各国における金融インフラの概況、アジアの資金環流に向けた我が国市場の利便性の向上などに関する論点が網羅され、今後の行政運営の参考として寄与するところは大きいと考えています。

6. 今後の課題

取りまとめられた論点整理に基づき、アジア各国の金融監督当局との情報交換・連携の強化や、官民双方の取り組みに関する論点についての金融業界との意見交換、我が国市場の利便性の向上などに引き続き取り組む必要があります。

7. 当該政策に係る端的な結論

政策の達成に向けて成果が上がっており、今後もこれまでの取組みを進めていく必要があります。

8. 学識経験を有する者の知見の活用

政策評価に関する有識者会議

9. 注記（政策効果の把握方法又は評価に使用した資料等）

〔政策効果把握方法〕

^{※1} <http://www.fsa.go.jp/inter/etc/20060630.html>

政策効果は、下記に掲げる資料を参考にしつつ、把握に努めました。

〔使用資料等〕

・ 共同研究会の開催状況

「アジア金融資本市場および我が国市場の発展に関する共同研究」論点整理

10. 担当部局

総務企画局総務課国際室